

	都市情報学研究科(修士課程)
DP	<p>都市情報学研究科修士課程において、2年以上在学し、修了に必要な30単位以上を修得した上で、所定の修士論文の審査に合格し、</p> <ul style="list-style-type: none"> ①アナライジング(情報を収集・整理・分析すること) ②プランニング(計画を立案・設計すること) ③プレゼンテーション(成果を発表すること) <p>に関する高度な能力を身に付け、新しい時代の理想的な都市社会を創造するためのアイデアを提案することができる学生に対して、修士(都市情報学)の学位を授与します。</p>
CP	<p>都市情報学研究科修士課程の教育課程は、</p> <ul style="list-style-type: none"> ①政策、行財政、情報、基盤、環境、地域の専門科目を学び、修士としての専門知識を修得する課程 ②特別研究を通じて、修士の学位に相応しい総合能力(アナライジング、プランニング、プレゼンテーションの能力)を修得する課程 ③修士の学位に相応しい修士論文の作成 <p>で編成されています。</p>
AP	<p>本研究科修士課程で学ぶためには、</p> <ul style="list-style-type: none"> ①問題を解決するために論理的に思考すること ②問題を解決するために粘り強く取り組むこと ③よりよい人間活動の場の創造に向けて努力すること <p>に関する能力を身につけていることが望まれます。</p>

	都市情報学研究科(博士後期課程)
DP	<p>都市情報学研究科博士後期課程において、3年以上在学し、専修科目について研究指導を受けて、所定の博士論文の審査に合格し、</p> <ol style="list-style-type: none"> ①先駆的なアナライジング(情報を収集・整理・分析すること) ②独創的なプランニング(計画を立案・設計すること) ③魅力的なプレゼンテーション(成果を発表すること) <p>に関する高度な能力を身に付け、新しい時代の理想的な都市社会を創造するための学術的に優れたアイデアを提案することができる学生に対して、博士(都市情報学)の学位を授与します。</p>
CP	<p>都市情報学研究科博士後期課程の教育課程は、</p> <ol style="list-style-type: none"> ①特殊研究を通じて、博士の学位に相応しい総合能力(アナライジング、プランニング、プレゼンテーションの能力)を修得する課程 ②学術的に優れた研究論文の作成および学会発表(誌上発表、口頭発表) ③博士の学位に相応しい博士論文の作成 <p>で編成されています。</p>
AP	<p>本研究科博士後期課程で学ぶためには、</p> <ol style="list-style-type: none"> ①問題を解決するために論理的に思考すること ②問題を解決するために粘り強く取り組むこと ③よりよい人間活動の場の創造に向けて努力すること <p>に関する高度な能力を身につけていることが望まます。</p>